

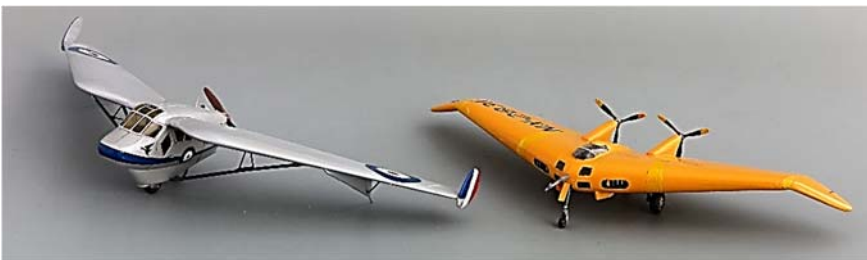
ワケ カタチには理由がある(80)

Shape follows Function & Taste

～ウェストランド・プテロダクティル(Pterodactyl)IV



<ノースロップ N-1M と ↓>



無尾翼機の開発に情熱を注いだジェフリー・T・R・ヒル(G.T.R.Hill)により設計された英国の3人乗りの無尾翼機です。失速を起こしにくいことを目的とした彼の無尾翼機の設計は、航空省に認められ、Mk.IAを試作した後(Mk.IIとIIIは航空省に承認されなかった)、このウェストランド社が製造に協力し、このMk.IVは1931年に初飛行しています。このシリーズは計画を含めMk.VIIIまで続きますが、結局、実用的な機体に発展することはありませんでした。ただ、ウェストランド社が同時期に製造したライサンダー連絡機の主翼は胴体への付根部分が後方に後退しており、このプテロダクティルに似ていますので、多少の影響は与えたのではないかと想像します。ノースロップ社のN-1Mと並べてみましたが、「無尾翼機」と「全翼機」とは異なることがよくわかります。なお、プテロダクティルとはジュラ紀の翼竜の名前ですが、プテラノドンとは違い、25cm～50cmと小型の翼竜でした。

【模型について】

今は無き、英国のメイントラック(Maintrack)社の1/72のバキュームキットです。一枚のメインプレートとキャノピーがモールドされた透明の蓋とを合わせ、間に組み立て説明書を入れたBOXKITと名付けられたおしゃれなキットシリーズの一つでした。(中川裕幸 2023年3月)